

第2期科学委員会のあり方について

1. 親委員会委員の任期は2年（再任は1回）とされている。しかし、第1期は科学委員会の立ち上げ期でもあり、親委員会として議論を行う時間を十分に確保することができなかった。また、親委員会については、今後も継続性の観点から原則として全委員に再任を依頼することとしてはどうか。
2. 第3期において全親委員が一斉に交替することを避けるため、第2期親委員として今回、10名程度を新規に追加することとしてはどうか。
3. 第3期以降も、継続性を担保しながら機械的に委員改選が行われるよう、第2期の終わりに第2期委員は全員再任としながら第3期委員として10名程度を追加する。以降、これを繰り返すこととしてはどうか。
4. 一方、専門部会は任期を2年とし、再任しないこととしてはどうか。（議題に応じた適切な委員を選定するため、結果として2年以上続けて専門部会委員となる場合はある。）
5. また、専門部会委員の選定に際しては、推薦依頼等により審査等改革本部が有する研究者情報に加え、当該議題に関わるPMDA関係部からも委員候補者の推薦を求めることとしてはどうか。ただし、PMDAからの推薦者の割合には配慮することとする。

専門部会

赤:変更 緑:新任

(第1期)

(第2期)

(第3期)

現在

H26.4

H28.4

部会長
副部会長
委員A
委員B
委員C
委員D



---- (任期満了)
---- (任期満了)
---- (任期満了)
---- (任期満了)
---- (任期満了)
---- (任期満了)

全委員
任期満了で退任

部会長 (←親委員会委員から選定)
副部会長
委員▲
委員■
委員★
委員△



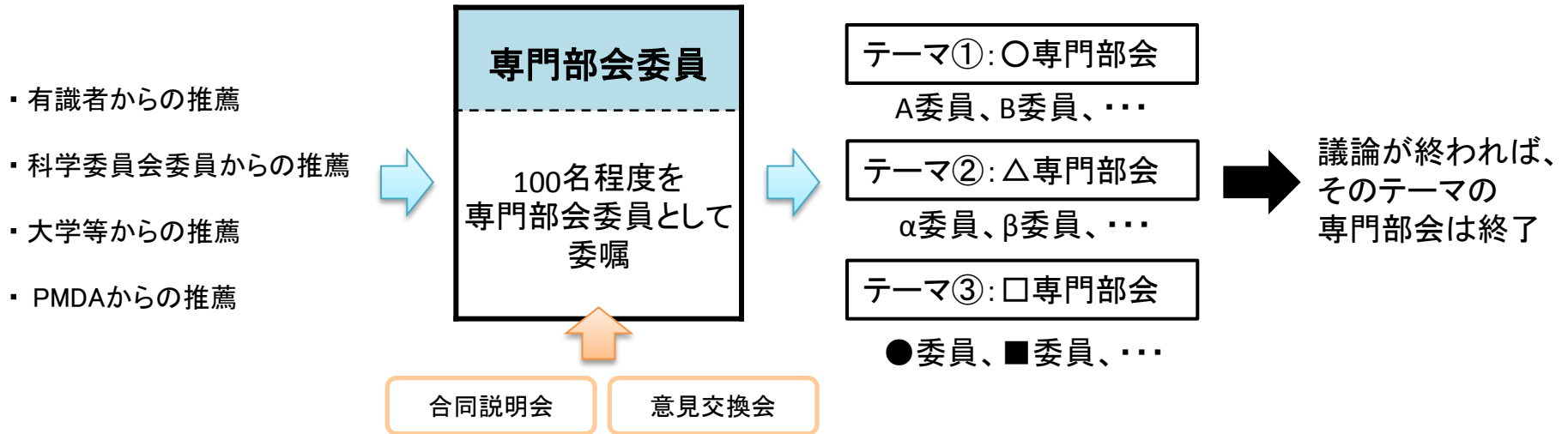
---- (任期満了)
---- (任期満了)
---- (任期満了)
---- (任期満了)
---- (任期満了)
---- (任期満了)

全委員
任期満了で退任

部会長 (←親委員会委員から選定)
副部会長
委員☆
委員▼
委員▽
委員※



第2期科学委員会専門部会の体制



＜本案の要点＞

- ① 候補者の中から、専門部会委員として100名程度を委嘱する。
- ② テーマを親委員会で選定する。親委員会委員の中から専門部会長を選任し、専門部会を設置する。
- ③ テーマに応じたメンバーを専門部会委員の中から選定する。テーマの議論が終われば当該専門部会は終了する。(その後、親委員会で新たなテーマを選定する。専門部会を設置し、メンバーを専門部会委員の中から選定する。)
- ④ 専門部会委員を対象に、合同説明会・意見交換会を開催する。(年2回程度)

親委員会

赤:変更 緑:新任

<参考>

